

なかつか 亮



放射性物質

小中学校・保育園 給食食材を測定へ

「考えていない」が一転、「測定で不安に少しでも応えたい」



「安全が確認されたものが流通している」と給食食材の放射性物質測定を求める保護者や共産党の要望に、品川区はこのような説明を繰り返していました。

こうした区への対応に、保護者らは区議会へ測定を求める陳情書を提出。区議会は全会一致で可決し、区に「対応の見直しを迫りました。今月に入り区は「保護者に安心してもらうため」と方針を転換。21日(月)から給食食材の測定が始まりました。共産党は引き続き子どもたちの内部被曝対策や区民から要望のあった場所(通学路や側溝、雨どい等)の測定を求めます。

原発事故による放射能汚染から子どもを守る対策の第一歩は何といっても徹底した測定です。「なかつか亮ニュース36号」で区内ホットスポット発見へ、区独自測定の開始をお知らせしましたが、小中学校と保育園の給食食材も11月21日から区独自測定することになりました。

どちら当初、品川区が拒んでいたも

の。区民運動と共産党の奮闘が区を動かしています。測定は小中学校と保育園を毎週交互に1施設づつ。月曜日の献立からメインになる食材5品目を抽出し、専門業者に測定を委託。公表は週末に区ホームページで発表します。区は検査体制を整わせ、来年度は測定テンポを早めたい考えです。なかつか亮

西大井タクシー 落下事故から一ヶ月

— 復旧工事が終了 —
— 区内ガードレール総点検を —



10月24日夜におきた西大井のタクシー落下事故。事故直後の様子を近所の方に伺ったところ「尋常じゃない音に驚き、慌てて外にでたらタクシーが落ちていた」と話します。

事故が発生したガードレールは11月7日に普及工事が終了しました。区に現在の対応を伺ったところ「事故原因は大井警察署が調べていますが、区としては直ちに復旧工事を行い、現在は区内のガードレール点検を実施しているところですよ」と話します。

正面からの衝突は想定外？

今回の事故を考えた時、疑問は車のス

ピードは解りませんが「ガードレールの強度は、どうなっているのか」です。

ガードレールの基準は国土交通省が定めています。その基準を見ると、車が斜めから衝突する時の衝突度は想定していますが、正面からの衝突度は想定していません。復旧したガードレールの強度を聞くと区は「事故を受け、今回の箇所は縦に打ち込む柱を通常



より2倍とし、補強しました」と説明しました。

点検と改善を

点検状況については区は「事故現場と同様に、道路より低いところに電車が走っている場所は区道だけで24ヶ所。私道や都道を含めるとこれ以上」と話します。また事故現場の反対側には、ガードレールが極端に錆びているところもあり、写真を示し改善を求めたところ、区は「現地を確認したい」と話しました。

私は改めてガードレールの基準や設置、保守点検に問題はなかったのか。総点検と改善を求めました。なかつか亮

次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

12月16日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**